

## ダメだよと言える勇氣

佐用小学校 6年 竹田 悠那

私がいじめに対して「ダメだよと言える勇氣」が大切だと思ったのは、テレビでいじめのニュースを見ることが最近とても多いからです。毎年いじめが原因で不登校になって、学校に行けなくなったり自殺するまでおいこまれたりしているのにおどろきました。

いじめのニュースを見て、私はいかりと悲しみの感情でいっぱいになりました。なぜかという、いじめている人がくだらない理由でいじめをしているからです。例えば、ラインの既読無視だったり、単なるいやがらせだったりして、それだけの理由です。そして、いじめの内容も、かげ口を言ったり無視したり、時には暴力をふるったり、された方は本当に心も体も傷ついていると思います。そんないじめが起きているニュースを見るたびに、考えることがありました。それは、いじめをしている人に「ダメだよと言える勇氣」が大切だということです。なぜかと言うと、くだらない理由でいじめが起きているなか、周りの人たちは、いじめられている人のことを見て見ぬふりをしているからです。

もし、自分の学校でもいじめが起きたら、と考えてみました。「ダメだよ」と言うことで、私がいじめのターゲットになったり、いじめがエスカレートしてしまったりするかもしれません。それでも、私は勇氣を出して「ダメだよ」と言いたいのです。誰かが勇氣を出さないと、いじめられている人はずっとつらい思いが続くからです。

みなさんは、人権とはどんなことだと思いますか？ 私は、この世の中のだれもが傷つかないよう、だれもつらい思いをしないよう、そして、人が平和に、幸せに生きていく上で大切な権利のことだと思います。また、だれもが生まれながらにもっている権利や、人間らしく、自分らしく、個性をもって生きることができる権利でもあると思いました。

私が、みなさんに一番伝えたいことは、題名にも書いているように「ダメだよと言える勇氣」が必要だということです。

私はこれから、この「ダメだよと言える勇氣」という言葉を大切に、この世の中のだれもがきずつかないよう、だれもつらい思いをしないよう、人が平和に幸せに生きていく世の中をめざしたいと思います。そのために、まず自分が「ダメだよと言える勇氣」をもちたいです。一人の力は小さいかもしれませんが、でも、私が勇氣を出すことで、他のだれかも勇氣を出せるかもしれません。小さい力が集まれば、きっと大きな力になると思います。そうしていつか、世の中からいじめがなくなって、みんなが幸せに生きていく未来にしたいです。